

【徳】重点課題 思いやり・相手を尊重する心の育成

目 標…

「互いに認め合える生徒」

80%以上

※人間関係づくり活動を通して、生徒同士の人間関係の醸成に努める。

前年度の反省	「自分から関わっている」の項目では、「関わっている」という生徒の肯定的な回答が3学年とも90%以上であったことから、学校全体で自己肯定感や他者理解・他者貢献の意識が高い学級風土が醸成できている一因と言える。また、「先生は自分を認めてくれていると思う」の項目で87%の生徒が肯定的な回答をしており、「徳」に関連する項目全てにおいて「前期から上昇+80%以上達成」が見られ、これまで行ってきた一貫した取組が生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることに効果的であったと言える。多様な個性、互いのよさや違いを認め、協働的な学びに向かう人間関係の構築に向けて継続的な取組が望まれる。
教科や道徳授業	教科や体験活動を通して、互いに認め高め合い、実践しようとする心情や態度を育てる。
特別活動等	生徒会活動を通して、自治と自立の力を育み、望ましい人間関係を形成し、よりよい学校生活づくりに参画しようとする態度を育てる。
生徒会活動	生徒会執行部が行事や集会、専門委員会等、学級・学年を越えたグループワークを推進し、集団や社会生活における望ましい態度の育成を図る。